

ロバパンカップ

第51回全道(U-12)

サッカー少年団大会

### 札幌地区予選

全道大会進出おめでとう!!

真栄 北郷瑞穂 SabioFC 札幌 上江別 Jr.FC FC Kitago ラランジャ AGGREU-12 (A) SSS 札幌サッカースクール 西園・福井野 S

札幌地区代表を目指して各会場で熱戦が繰り広げられました。結果、上記8チームが全道大会に進出しました。全道大会は栗山町ふじスポーツ広場で開催。 7月末に行われた全道大会でも、札幌代表チームの健闘が光りました。

## 6月30日(日) 江別美原グランド Aプロック北園・美香保 NAITED真栄10-1<br/>1-23

今年の真栄は、両サイドのドリブルアタックから スペースを利用して攻めていくチーム。サイドをえ ぐってから直接シュートをねらったりゴール前への パスを使ったりした厚い攻撃をしかけた。それを、 北園・美香保は堅い守りで対抗した。

真栄キックオフで試合が開始された。前半3分、真 栄はペナルティエリア付近からのフリーキックを得 る。しかし、真栄11番のキックは惜しくも枠をとら えることができなかった。8分、北園・美香保7番か 札幌市サッカースポーツ少年団連盟 広報紙 2019.8.18 No.3

らのパスを10 番がペナルティ エリアの外から シュートする が、真栄ゴール キーパーがしっ かりとキャッチ



する。9分、北園・美香保のディフェンダーがはじいたボールを真栄8番が右足でダイレクトシュート。 ゴールが決まって真栄が先取点を取る。その後も真 栄の攻撃は続き、18分、またもペナルティエリア内でボールを奪いシュートするが、惜しくもクロスバーに直撃、追加点を奪えないまま真栄の1点リードでハーフタイムに入った。

後半2分、真栄8番が左サイドをドリブルで突破、 ゴールに迫り、ペナルティエリア付近でカットイン し、右足で追加点を奪った。後半8分、またも真栄8 番が相手パスを奪いドリブル突破し右足で決め、3 点目を奪った。

後半12分、北園・美香保10番が味方からのパスをワンタッチで相手ディフェンダーをかわしてシュート、これは真栄ゴールキーパーの好セーブに阻まれた。そして、後半19分、北園・美香保8番は相手ゴールキーパーがこぼしたボールを拾って無人のゴールに流し込み、待望の1点を奪う。しかし、北園・



美香保の全道大会への夢は1対3で、真栄に阻まれた。

### 6月30日(日) 江別美原グランド Bブロック 北郷瑞穂 0-2 1 0-2 1-0 2

開始早々から北郷瑞穂開、 ル郷瑞穂開、 北郷瑞穂のドック でゴッグでゴールを いった。 いった。



ソンのゴールキーパーがクリアし、しっかりと守った。前半2分、北郷瑞穂は、コラソンのゴールキーパーが前に出たところを見逃さず、ループシュートを決め先制する。SSSコラソンも、中盤を立て直し、両サイドにボールを展開して対抗。バイタルエリアに侵入し、たびたびシュートするが、ゴールの枠を外す。北郷瑞穂も中盤で、ボールをカット、ゴールキーパーと1対1になるチャンスを作った。

アディショナルタイムに入り、北郷のゴールキーパーが前にリリースしたボールが10番にわたり、 そのままゴールに押し込み追加点を奪った。

後半の立ち上がり、早く1点を取り返したいSSSコラソンは落ち着いてボールを回し攻め込む。しかし、シュートをすることができなかった。一方の北郷瑞穂はカウンター攻撃をねらうがシュートはゴールキーパーの正面に終わった。次の1点をどちらが先に奪うかで試合の流れが決まる緊迫した状況が続く。SSSコラソンの厚い攻撃に、北郷瑞穂はトップの1〇番を後ろに下げ、何とかSSSコラソンの攻撃を防

ぐ。後半19 分、とうとう SSSコラソン 19番が1点 を返すが、惜 しくも試合終 了。



北郷瑞穂が全

道大会に勝ち進む結果となった。

北郷瑞穂は、6年生に5年生が混ざった選手の構

成で、トップの10番を中心にして得点をねらい、守備陣も互いに声を掛け合い協力してしっかり守る素晴らしいチームであった。

6月30日(日) SSSグランド Cブロック							
SabioFC札幌		札幌ジュニアFCホワイト					
2		2-0	0				
2	0-0		O				

天候も良く、爽やかな 風が吹く中、Sabinの コープラインで 開始された。



お互いに攻守の切り替えが早く、中盤での激しいプレスが続く。その中、前半10分、Sabio9番がキープしたボールを11番が走りこみ見事なシュート。先制のゴールを決める。すぐに取り返そうと攻める札幌ジュニアのボールをSabio8番が取り返し、右サイドをドリブル突破してからのセンタリング。これを11番が冷静に決めて追加点とする。

あきらめない札幌ジュニアは、14分にカウンターから36番がシュートを打つがGKの正面でセーブされる。その後お互いにシュートを打つも枠を外れてしまい前半終了。

後半、運動量も落ちずに両チームとも攻守の切り替えが早いゲーム展開が続く。5分に札幌ジュニアの63番からのスルーパスを受けた40番がシュートを打つもSabioゴールキーパーのナイスセーブ。その流れで得たCK、Sabio40番から48番がヘディングシュートは惜しくも枠をとらえるこ



とができない。 追加点を取り に行くSab ioも落ち着 いたボールロ しの中で10 分、8番がセ ンターライン から付近からの思い切ったロングシュートを放つが 惜しくも枠を捕えられない。札幌ジュニアも最後ま で諦めずに攻め上がるが、Sabioは固い守備で 守り抜き試合終了。SabioFC札幌が、全道大会 出場を決めた。

前後半共に両チームが激しくボールを奪い合う中でも互いにリスペクトし、フェアなゲームであった。

晴天の中、 第51回ロ バパンカッ プの決勝は、 両チームの 熱い円陣か ら始まった。



前半、序盤から上江別が押し込むもゴールに届かず、しばらく一進一退の攻防が続いた。前半10分、上江別6番のシュートが相手ディフェンダーにあたりゴールキーパーがはじいたところを8番が押し込み、先制した。札幌シーガルも相手ゴールを目指し果敢に攻め込んだがゴールには届かず、前半終了。

後半は、開始早々両チームともにシュートを打つが、得点にはつながらない。後半5分、札幌シーガルがクリアボールをつなぎ、9番の巧みなフェイントからドリブルでペナルティエリアに持ち込み、強烈なシュート。これがゴール右上に決まり、同点。試合を振り出しに戻した。

ここから両チームともにチャンスを作るが、互い



 始まる。迎えた後半15分、相手クリアミスを上江別11番がゴール前まで運び、ゴール左隅へ決めて勝ち越し。その後も上江別は攻撃の手をゆるめずに試合が終了した。上江別Jrが、2対1で全道大会の出場を決めた。

前後半を通じ、両チームともボール際が激しい中でもフェアプレーが多く、見ごたえのある試合内容だった。

# 6月30日(日) SSS グランド Eブロック FC Kitago ラランジャ LIV.FC 2nd 1-1 1-0

前半のキック オフは LIV.FC2nd。 立ち上がりは Kitago ラランジャが、右 から左へ、左 から右へとデ



ィフェンスでのパス回しをする中で最初のシュートを8番が放つも、LIV.FC 2nd のゴールキーパーの正面になった。その後、Kitago6番が左サイドからシュートを打つが相手ディフェンダーにあたり、左からのコーナーキックとなる。コーナーキックは、ゴールの前を通って逆サイドに抜け、得点にはならなかった。前半6分、LIV44番がゴール前へ切り込みシュート。ボールは相手ディフェンスにあたりコースがかわったためゴールキーパーは反応できず、オウンゴールとなった。

その後一進一退の攻防が続く中、Kitago 9番が左 サイドからドリブルシュートし、相手ゴールキーパーが右側にはじいたところをつめていた10番がシュートを決めて、同点となる。その後も Kitago が攻め続けるが、LIV.はしのぎ切り、1対1で前半を終了した。

後半早々、Kitago9番が中央で6番の左からのパスからシュートするもキーパーの正面。次に、LIV.44番は、自らが得た直接フリーキックでゴール前にセンタリングを上げるが相手ディフェンダーにクリ

アされる。

後半6分、Kitago8番が左サイドをドリブルしてセンタリング。ディフェンダーにあたったボールを10番がシュート。相手ゴールキーパーが左に飛んで触るもゴールが決まり、2対1とリードする。逆転した Kitago の猛攻が続くが、LIV.はゴールキーパーを中心に守り追加点を許さず、攻め返した。LIV.は左サイドからのドリブルで得たフリーキックやコーナーキックからのこぼれたボールのシュートチャンス



を活かすこと ができなかの た。怒涛のな を最後すっ り が はtago ラ接 を もした。

6月30日(日) 駒!		ヹグランド	Fブロック
札幌ジュニア		AGGRE U-12	
パープル		(A)	
1	1 -	-O	1
	0-	-2	2

Fブロック の決勝は、駒 岡 人 エ 芝 サ ッ カ ー 場 行われた。

札幌ジュニ アは、センタ



ーバックの35番を中心に、後方から正確なロングパスからサイドを使って再三相手ゴールに迫りシュートするが、AGGRE の堅い守りにはばまれ得点することができない。そして、AGGRE のゴールキーパーのパントキックは相手のペナルティエリアまで届き、札幌ジュニアサイドでの攻防戦を挑む。一瞬で攻守が入れ替わる、目の離せない展開が続いた。

前半 12 分、AGGRE8番のロングシュートは 札幌ジュニアゴールキーパー6番の頭上へ、キー パーは上手くキャッチできずゴール左にこぼれ相 手のヘディングシュートを許す。辛くもゴールポストの外にそれた。札幌ジュニアは、すかさずゴールキックからハーフラインを越えて24番に渡り、競り合いになる。素早く駆け上がった54番につながりドリブルで中央を突破し相手ディフェンスを振り切ってシュートを決め先制する。

後半、AGGRE は、ゴールキーパーからのパントキックと再三のフリーキックで札幌ジュニアのディフェンスを苦しめ、徐々に札幌ジュニアのディフェンスラインを後ろに下がらせていく。後半6分、AGGRE8番のフリーキックは跳ね返されたが、ボールはAGGRE11番の前に。思いきりけったロングボールはゴールキーパーの前で落ちイレギュラーバウンド。キーパーの手をかすめてゴールのバーすれすれに吸い込まれ、1対1の同点になった。

その後の激しい攻防の中で、AGGRE は選手交 代を繰り返す。後半18分、AGGRE のフリーキ ックからのロングボールはゴール前で AGGRE5 番が競り合い、こぼれたボールを6番がダイレク



トシュート。 特望の 第い、 AGGRE が 全道大を 出場権を 得した。

6月30日(日) SSSグランド Gブロック					
SSS 札幌サッカースクール		上白石			
8	4- 4-	-O -1	1		

前半、SSSのキックオフで試合がスタートする。 開始早々1分、SSSの9番からのスルーパスにタイミングよく反応した11番が冷静に流し込み先制ゴールを奪う。その後、SSS9番、11番、14番が立て続けにシュートを放つが枠をとらえることができない。前半5分、SSSの7番のパスから裏に抜



け 1 し ル さ 1 イ ブル さ 3 キ サ リ 破

したSSS9番が放ったシュートが惜しくもポストにあたり、跳ね返ったボールを11番がこの日ハットトリックとなる3点目を決める。前半12分には、SSS7番が中央からのドリブル突破でシュート。これが追加点となる。前半16分、上白石は2度目のコーナーキックのチャンスとなるが、SSSの粘り強い守備にはじき返され、このまま前半戦が終了した。

後半、開始早々の1分、上白石の11番がこぼれ球から放ったミドルシュートがゴールに吸い込まれる。 上白石が、反撃の狼煙を上げるも、SSSは、後半9分に11番、11分に14番、13分には10番、終了間際に14番が次々と得点し、試合終了のホイッ

スルを聞くこ ととなり、S SSが8対1 でGブロック の代表となっ た。



6月30日(日) SSS グランド Hブロック						
石狩 FC レ	ッド	西園·福井野S				
	0-	-O				
	0-0					
O	〇延	前O	0			
	O延後O					
	1P	K3				

午前中強かった風も弱まり良好なコンディションの中、石狩FC レッドのキックオフで開始された。

前半序盤は目まぐるしく攻守が入れ代わる展開で 試合が進む。両チームともサイドを大きく使いなが らゲームを組み立てていくが、なかなかゴール前ま でボールを運ぶことが出来ない。

最初にチャたのは4分、があり、 があり、 があり、 があり、 がった で がった で で け が で の が の シュ



ートを放ったが、ゴールキーパー正面となりゴールにはならなかった。その後も石狩 FC レッドがやや優勢にボールを支配するが決定的なチャンスを作ることが出来ない。

10分、西園・福井野Sがファールを受け、やや 距離はあるがゴール右サイドの絶好の位置からフリーキックのチャンスを得る。ゴールキーパー1番が 直接ゴールを狙ったがディフェンスに当たり、得点 にはならなかった。その後も両者攻め合うが決定的 チャンスを作れず前半が終了した。

後半に入ると今度は西園・福井野 S がボールを支配する。粘り強い守備から右サイドを起点に攻め上がり何度もチャンスを作るが、石狩ゴールキーパーのファインセーブもあり得点にまではつながらず、この日初めてとなる延長戦に突入する。延長では両チームの堅い守備の中、お互いに攻め手を欠き、勝負は PK 戦へ。

PK 戦、2-1で迎えた先行の西園・福井野S の 3人目のキッカーは、この日距離のある FK をすべ て任されていたゴールキーパー1 番。力強いシュー



トがゴール ネットに突 き刺さり試 合終了。

西園・福井 野 S が全道 大会進出を 手に入れた。

全道大会の結果は道協会の HP をご覧ください。